事例No.	2382
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	宮城県気仙沼市

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・関係人口 ・福祉・介護

事例種類	集落対策・集落支援員

事例内容・タイトル

まちづくり協議会を拠点とした集落支援員活動

出典

集落支援員　最近の取組事例紹介　平成30年度

集落支援員～取組事例～①

青森県中泊町（なかどまりまち）

平成30年度：2名（うち専任2名）

【概要】
　2人でチームを組み、地域自治組織とともに活動しており、地域住民との相談や話し合いにより地域の魅力や課題を見つけ、空き家・空き地の解消や高齢者の見守り等に取り組んでいる。

【活動内容】
　空き家や人口・世帯調査のほか、地域の課題を把握するためのアンケート調査、高齢者の見守り、空き家・空き地情報のデータベース化を実施。さらに地区懇談会を1か月に1度のペースで開催している。

【ポイント】
　2名とも地元出身者で地域住民の信頼も厚いことが、集落点検等を円滑に実施できる要因となっている。


（地区懇談会）

宮城県気仙沼市（けせんぬまし）

平成30年度：5名（うち専任4名）

【概要】
　市内5か所のまちづくり協議会に1名ずつを配置。まちづくりに係る課題の調査のほか、課題解決へ向けた取組等を支援している。

【活動内容】
　地域点検や、住民同士の話し合いに向けた環境整備、被災者との交流行事、まち歩き、地域のお祭り、子供の体験学習といったまちづくり活動の企画等を行っている。

【ポイント】
　まちづくり協議会を活動拠点とし、若者を含む地域住民を上手に巻き込むことで、持続的な活動につなげている。


（漁業体験学習）

山形県金山町（かねやままち）

平成30年度：2名（うち専任2名）

【概要】
　5地区からなる西郷地域に2名を配置し、高齢者の見守り活動や、地域のにぎわい創出等に取り組んでいる。

【活動内容】
　独居高齢者や高齢者世帯を訪問し、近況や生活上の課題の聞き取りを実施。また、地域新聞を隔月で発行し、全戸配布しているほか、廃校を活用して、子どもの遊び場や地域の話合いの場を創出している。

【ポイント】
　地域住民が集まる場に積極的に参加することで、より多くの意見や要望を聞き取り、地域のニーズを分析し、共有している。


（西郷地域のワークショップ）

福井県福井市（ふくいし）

平成30年度：2名（うち専任2名）

【概要】
　人口減少や高齢化が進む中山間地域に2名を配置。地域の状況を把握し、課題の解決や活性化に向けた取組を展開している。

【活動内容】
　高齢者世帯の訪問・声かけ、住民や自治会からの相談対応、市や住民が行う行事等の運営支援、農作物の栽培及び販売サポート等を実施している。

【ポイント】
　地域の実情に詳しい集落支援員が、集落点検にとどまらず、地域住民による組織や県内外の大学等と連携しながら、地域の活性化に向けた諸活動に携わっている。


（大学生が地域行事に参画）

※人数は各市町村における集落支援員の総数（特交ベース）であり、上記の取組以外の活動を行っている集落支援員も含まれる。